

主 な 質 疑

一 般 会 計

歳 入

問 国庫、町債など未済額が発生した理由は。

答 翌年度への繰越額が発生した。

問 義務的経費が前年度より5ポイント下がった背景は。

答 予算額に対する人件費の割合が下がったことによる。

問 林業費補助金で未済額発生の原因は。

答 事業予算額の一部を次年度に繰り越したため。

歳 出

総務費

問 防犯灯の電線の張り替え工事の内容は。

答 町道大萱線に設置された防犯灯を除雪のため移設。

問 婚活事業の実績は。

答 1回目は0名、2回目は15名、3回目は12名の参加があった。

問 再生可能エネルギー委員会の委員数と実績は。

答 委員は9名で年1回委員会を開催している。

民生費

問 シルバー人材センターの事業実績は。

答 わらじづくりや除草作業など、延べ1079人が活動。

問 子ども子育て支援システム保守業務の委託先は。

答 地方公共団体に情報サービスを行う企業に依頼。

衛生費

問 住民健診の受診割合は。

答 住民の65%が受診。後期高齢者が41%となっている。

問 無分別ゴミ出しへの対応は。

答 行政区長会をとおして考えたい。

労働費

問 仙南地域職業訓練協会の内容は。

答 国、県、市、町、企業の補助で新入社員の研修。専門的な研修も行っている。

農林水産業費

問 パイプハウス利用実績は。

答 利用棟数は26棟。売上最高額は20万円ほどとなっている。

問 旬の市の利用客が2年続きで5000人ずつ減っている。

答 昨年は雨が多く利用客が減った。今後PRしていく。

問 林道維持管理費の不用額要因は。

答 間伐造林の予定現場を再調査の結果、事業実施できなかった。

■商工費

問 産業活性化助成金の利用件数と金額は。

答 個人2名で53万2000円。企業3社で590万円。

■消防費

問 消防施設の借入地は。

答 大原地区のポンプ格納庫のみ借りている。

■教育費

問 備品購入費不用の要因は。

答 パソコンのウイルスソフト使用料などが不要となった。

特別会計

■町営バス特別会計

問 町営バスの利用実績は。

答 一般の利用者数が2万2474人、定期券の利用者数が1万567人。

問 デマンドバスの利用状況は。

答 年間の運行回数は49回。利用者数は454人。

問 バス利用料金の見直しに対する調査が必要ではないか。

答 今後も引き続き研究していきたい。

■公共下水道特別会計

問 マンホールの修繕箇所は。

答 湯原地内3ヶ所、峠田地内2ヶ所、関地内1ヶ所、横

川地内1ヶ所。

町内全域で7ヶ所を修繕。

■介護保険特別会計

問 配食サービス利用件数の減少理由は。

答 施設入所者や子ども宅での生活、また、死亡などにより利用者が減少した。

■七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計

問 かわまちづくり計画の内容は。

答 ダム周辺を中心にドッグラン、サイクリングコースなどを計画。右岸へのトイレ設置や元の道の駅ありやの利用なども検討中。

総括質疑

問 高齢化率46・12%に対する今後の対応は。

答 46〜48%で保っていかると考えている。健康で安全、安心な生活ができるよう力を入れたい。

問 旬の市の集客が年々減少傾向にあるが、隣接の雪室が活かされていないのでは。

答 森林組合と協議している。雪室の利用環境を整備し、個人にも目を向けて再活用を検討したい。



▲秋の幸まつり